



## 学ぶということ

校舎から望む山野の風景が黄色を帯びてきています。田圃ももうすぐ黄金色に染まることでしょう。暑さも少しずつやわらぎ、まさに実りの秋もうそこまで来ています。そんな田園風景を、贅沢にも日々目にするのできる幸せをかみしめています。

なぜ勉強するのか。その確かな答えを知らないまま、子どもたちは学業の道に入ります。そして、今もその答えを見出せないまま勉強し続けている生徒もいます。勉強自体に楽しさを感じている生徒は、いわゆる自主的・意欲的に取り組めますが、そうでない場合はどうしても受け身になってしまいます。どちらが理想的かは言うまでもありません。

実は、幼少の頃、ほとんどの子どもが日常生活の中で「どうして？」を連発していたと思います。大人には返答に窮した記憶があるのではないのでしょうか。子どもの頭の中には、常に外界に対する不思議（「？」）がいっぱいあります。中学生になった今も、様々な事象に対する「なぜ」という問いは、たとえ言葉に出なくとも健在です。授業で、「あっ、そうか」「へえー」「なるほど」「できた」などの生徒の発言を耳にすると、実に教師冥利に尽きます。

歴史上、人類は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会を順に発展させてきました。これからの社会は超スマート社会（Society5.0）と言われ、仮想空間と現実空間を融合させて様々な課題を解決していくことを目標としています。IoT や AI はその筆頭です。大昔は経験や知恵を口承して社会生活を営むしかなかったのが、文明が起こってからはそれが文字として継承され、内容ごとに分類され、学問（教科・科目）としてまとめられました。それゆえに、学問には数百万年にわたる人類の、先人の英知が詰まっていると言えます。高度に発展した今の社会を生きる人間は、今の社会を生きるために必要な力を身につけなければなりません。極論を言えば、それが学問です。現代社会がこれまでの社会を基盤に形成されている以上、その基盤を知らずして生き抜くには相当の労苦が伴います。基盤となるものが学問としてせつかくまとめられているわけですので、これを学ばない手はありません。勿論、学問には活用的な要素だけでなく、教養的な要素もあります。それは自分の人生を楽しく豊かにしてくれます。こんな話をしたら、生徒は学ぶ意義を少しは分かってくれるでしょうか。学びへの虹の架け橋を作ってあげるのもまた大人の役割です。

季節は「読書」の秋。そこでお勧めの一冊が、『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎著、漫画版もあります）。生き方のヒントを与えてくれるかもしれません。大仁中図書室の蔵書にもあります。 <文責 校長>



## おらが街の職を知ろう！職業フェア（1・2年生）

伊豆の国市商工会青年部の皆さんにご協力いただき、職業フェアが行われました。バラエティーにあふれた38職種の皆さんに出展していただき、1、2年生が体験したり見聞きしたりして、地域を支える地元の職について学びました。



### 【生徒感想】

- ・室外機やコインランドリーの洗濯機など、身近なものにも精密板金が使われていると知って驚きました。スマホスタンドを作って使ってみたら、音が大きくなってとても音楽が聞きやすかったです。
- ・僕たちの出すゴミがどこに行くのか、どうやって行くのか気にしなかったけど、今回の話を聞いて、色々な人が頑張っていて、ゴミが燃やされたり、リサイクルされたりしていることを知れてうれしかったです。
- ・鑑識の体験をして、2種類の指紋の採り方をやりました。一つ目は、アルミの粉をつけて採る、2つ目は、エルマゲンブラックという液体につけて採る方法です。体験は楽しかったけど、事件になると楽しくはないと思いました。
- ・自分たちでも、ホームページを簡単に作れたり、ゲームを作れたりすることができるなんて思ってもみなかったのです。おもしろかったです。VR（バーチャルリアリティ）も体験してみて、本当にその世界に入ってしまったようで、とっても楽しかったです。いつか自分もゲームを作りたいので、勉強になりました。

## 2年生 妊婦、高齢者体験、HUG実習（避難所運営ゲーム）

2年生は、総合的な学習の3年間を通じてのテーマが「防災」です。今回の学年日課の中で、福祉体験（妊婦体験・高齢者疑似体験・アイマスク体験）、ジュニア防災士養成講座、HUG実習、炊き出し訓練を行いました。ジュニア防災士取得を目標に活動しています。



## 1年生 下田学習

1年生は、伊豆半島の自然を身近に感じてもらうと、伊豆半島の勉強を深めています。7月には、ジオリアから講師を招いて、伊豆半島ジオパークについての学習をしました。今回は、下田体験学習に出かけました。あじの開き体験やサンドスキー、磯の自然観察を楽しみ、夕食は、下田の海の幸をおなかいっぱい食べました。



